



令和5年7月号

たてやま議会だより



市議会議員18人が決定
新しい館山市議会
任期4年がスタート



第1回
臨時会館山市議会 議長に太田 浩 議員
新体制スタート 副議長に瀬能孝夫 議員を選出原案
可決

市議会議員改選後初となる令和5年第1回臨時会が5月18日に開催され、正副議長のほか、各組合議会の議員や、議会運営委員会、各常任委員会などの委員を選出しました。

また、市長提案の議案5件の審議を行い、全ての議案を承認・可決・同意しました。議案の主な内容は次のとおりです。

◇議案第31号 館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

◇議案第32号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

◇議案第33号 館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について

- ・子ども医療費の支給対象を、中学3年生までから高校3年生相当まで拡大するとともに、同じ医療機関における自己負担額について、月額上限を導入するものです。

◇議案第34号 令和5年度館山市一般会計補正予算（第1号）

- ・歳入歳出それぞれ7千288万5千円を追加し、総額248億4千688万5千円とするものです。

主な内容は、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯への生活支援として、「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給するため、5千249万9千円を増額するものです。

◇議案第35号 館山市監査委員の選任について

- ・監査委員に新たに、石井信重議員を選任するものです。

就任ご挨拶



副議長 瀬能 孝夫 議長 太田 浩

このたびの館山市議会議員選挙後の臨時会において議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。歴史と伝統を誇る館山市議会を代表する重責を担い、改めて身の引き締まる思いでございます。

これまで諸先輩方が取り組んでこられた公平公正な議会運営に、引き続き努めてまいります。

今回の選挙において、新人議員が5名、女性議員が4名誕生するなど、市民の皆様への期待を大きく感じております。

私たちは、市民の皆様の負託にお応えすべく、市議会に課せられた責任を十分に認識し、二元代表制の一翼を担う議事機関としての使命を果たしてまいりたいです。さらに、館山市議会基本条例の「市民に開かれた議会」を目標に、市民の皆様の声を真摯に受け止め、議員間の討議の場を増やし、政策の提言に努めてまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解ご協力と大きなご支援を切にお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

館山市議会 議長 太田 浩

副議長 瀬能 孝夫

議会の構成 (◎委員長、○副委員長)

議長 太田 浩 副議長 瀬能 孝夫

総務委員会委員（6人）

◎望月 昇 ○鈴木ひとみ 石井 敏宏
佐野 聖一 渡辺 雄二 東 洋平

文教民生委員会委員（6人）

◎倉田 孝浩 ○鈴木 順子 太田 浩
石井 敬之 鈴木 明子 本澤栄里子

建設経済委員会委員（6人）

◎長谷川秀徳 ○石井 信重 秋山 光章
鈴木 正一 瀬能 孝夫 安田 邦春

議会運営委員会委員（9人）

◎石井 敬之 ○望月 昇 鈴木 順子
石井 信重 佐野 聖一 鈴木 明子
本澤栄里子 渡辺 雄二 東 洋平

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員（1人）

秋山 光章

安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員（2人）

太田 浩 石井 敬之

三芳水道企業団議会議員（5人）

秋山 光章 鈴木 正一 望月 昇
倉田 孝浩 佐野 聖一

監査委員（1人）

石井 信重

(3)

たてやま議会だより

館山市議会議員 18名の顔ぶれ

議員紹介 (50音順)

①住所 ②党派 ③当選回数 ④党派
⑤年齢 (令和5年5月1日現在)

任期: 令和5年5月1日~令和9年4月30日



石井 敬之 (いしい たかゆき)
①湊 253-1 ②無所属
③ 4回 ④市民クラブ ⑤ 67歳



秋山 光章 (あきやま みつあき)
①大井 823-2 ②無所属
③ 6回 ④市民クラブ ⑤ 76歳



倉田 孝浩 (くらた たかひろ)
①館山 1463-2 ②無所属
③ 2回 ④新政クラブ ⑤ 62歳



太田 浩 (おおた こう)
①塩見 244 ②無所属
③ 4回 ④市民クラブ ⑤ 67歳



石井 信重 (いしい のぶしげ)
①那古 843-2 ②無所属
③ 5回 ④新政クラブ ⑤ 53歳



石井 敏宏 (いしい としひろ)
①上真倉 320-2 ②無所属
③ 4回 ④緑風会 ⑤ 51歳



鈴木 ひとみ (すずき ひとみ)
①佐野 361-41 ②無所属
③ 2回 ④新政クラブ ⑤ 64歳



鈴木 正一 (すずき しょういち)
①神余 1490 ②無所属
③ 5回 ④新政クラブ ⑤ 72歳



鈴木 順子 (すずき じゅんこ)
①下真倉 227-40 ②立憲民主党
③ 9回 ④じゅん風 ⑤ 73歳



佐野 聖一 (さの せいいち)
①波左間 1055 ②無所属
③ 2回 ④市民クラブ ⑤ 47歳



鈴木 明子 (すずき あきこ)
①山萩 126-1 ②公明党
③ 1回 ④公明党 ⑤ 63歳



望月 昇 (もちづきの のぼる)
①北条 2010 ②無所属
③ 4回 ④新政クラブ ⑤ 65歳



長谷川 秀徳 (はせがわ ひでり)
①船形 1020-1 ②無所属
③ 2回 ④市民クラブ ⑤ 61歳



瀬能 孝夫 (せの うたかお)
①佐野 2080-5 ②公明党
③ 4回 ④公明党 ⑤ 65歳



渡辺 雄二 (わたなべ ゆうじ)
①八幡 345-1 ②日本共産党
③ 1回 ④日本共産党 ⑤ 50歳



安田 邦春 (やすだく にはる)
①船形 627-13 ②無所属
③ 1回 ④青海原 ⑤ 56歳



本澤 栄里子 (ほんざわ えりこ)
①船形 261 ②無所属
③ 1回 ④新政クラブ ⑤ 56歳



東 洋平 (ひがし しょうへい)
①長須賀 126-1 ②無所属
③ 1回 ④市民クラブ ⑤ 38歳

3月定例会

2月24日～3月23日(28日間)

案決
原可

過去最大

令和5年度一般会計予算

247億7千400万円など

議案30件を議決

令和5年3月定例会は2月24日に招集され、初日に森市長から、令和5年度の施政方針が示された後、国による出産・子育て応援給付金に関する補正予算1件と財産の取得1件を先議し、原案どおり可決しました。

本定例会には、市長提案による令和5年度当初予算議案5件、条例議案11件、一般議案4件、補正予算7件、人事案件3件を審議し、うち議案22件を所管する各委員会に付託し審査しました。

最終日に各委員会審査の結果を報告し、追加議案とともに審議しました。慎重審議の結果、全ての議案を、原案どおり可決、同意しました。主な議案の審議内容は、次のとおりです。

令和5年度一般会計・特別会計・下水道事業会計予算 (単位: 千円)

会計名		本年度予算額	前年度予算額	増減率 (%)
一般会計		24,774,000	22,452,000	10.3
特別会計	国民健康保険	6,097,017	6,178,117	△1.3
	後期高齢者医療	890,008	864,136	3.0
	介護保険	6,171,042	6,122,714	0.8
特別会計合計		13,158,067	13,164,967	△0.1
合計①		37,932,067	35,616,967	6.5
下水道事業会計	収益的支出	554,014	487,285	13.7
	資本的支出	554,717	505,611	9.7
	合計②	1,108,731	992,896	11.7
総計 (①+②)		39,040,798	36,609,863	6.6

一般議案
補正予算
質疑

◇下水道事業会計補正予算について
問 長寿命化対策事業の具体的内容を伺います。

答 鏡ヶ浦クリーンセンターの安定稼働及び延命化を図るため、国の補正予算を活用して、令和5年度に計画していた水処理棟及び汚泥棟の扉やシャッターの改修を前倒しして実施するものです。

当初予算質疑

◇基金残高の状況について

問 前澤友作館山応援基金について、使途が決まっているものを除き、残高はどのくらいですか。

答 令和5年度当初予算充当後の残高は、約13億1千800万円を見込んでいます。

◇道路新設改良費について

問 各地区からの排水や生活道路の整備要望は、必要性・優先度などを点数化して、実施時期の目途をつけるべきではないですか。

答 生活道路等の整備は、宅地への冠水被害など、緊急性や危険性を考慮して点数化し優先順位を付け、順次整備をしています。優先度の高い箇所は、予算措置の状況について要望者に説明していきたいと考えています。

予算審査
特別委員会

委員長 浩子
副委員長 三重
委員 鈴木 祐正
委員 本木 信
委員 石井 龍一
委員 望月 秀徳
委員 佐野 聖

予算審査特別委員会には、5件の議案が付託され、慎重審査の結果、賛成多数をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な議案の内容と質疑応答は次のとおりです。

総務費

◇行財政改革推進事業について

問 事業仕分けの実施時期と市民判定人の人数を伺います。

答 実施時期は、令和5年9月下旬の土曜日、日曜日の2日間を予定しています。市民判定人の数は、少なくとも1日あたり25名、2日間で50名の市民の方にお問い合わせいただきたいと思います。

民生費

◇民生委員業務委託事業について

問 定数を満たしていますか。また、民生委員の年齢制限について伺います。

答 民生委員児童委員の定数は112名で、その内96名は委嘱が完了しています。残り16名の内8名は、4月1日に委嘱を予定しています。年齢制限については、町内会長への選任依頼文書には75歳未満でお願いしていますが、地域の実情によっては78歳未満のところもあります。

衛生費

◇ごみ収集費（可燃ごみ）について

問 搬入量の前年度との比較及び今後の減量化への取組を伺います。

答 令和4年4月から令和5年2月までの11か月の搬入量を前年度同期間と比較すると約800トンの減量化が図られています。可燃ごみの減量化には周知を繰り返し行い、理解を深めることが重要です。まずは、ごみにしない工夫、分別の徹底とともに清掃センター大規模改修工事により外部搬出費用がかかる実情など、減量化の基本となる4Rも含め、周知していきます。

農林水産費

◇館山市農水産物加工品開発等支援事業補助金について

問 これまで開発した加工品の数と何を作ったのかを伺います。

答 令和3年度は7件で、館山産のフルーツや野菜を使ったドーナツ、いちごのフリーズドライ、牛乳を加工した製品等、令和4年度は5件で、館山産の農産物やジビエを使用した加工品等です。令和5年度は5件程度を想定しています。

商工費

◇「渚の駅」たてやま施設管理運営費について

問 来館者数を伺います。

答 昨年10月に来館者数が300万人を達成しました。令和4年度はすでに前年度を上回っており、過去最高であった平成30年度の約38万2千人に迫る勢いで伸びています。

土木費

◇船形館山線道路整備事業について

問 令和5年度の事業内容と用地の取得率を伺います。

答 用地取得の他、無電柱化に伴う電線共同溝予備設計、宇田排水路修正設計、バイパスに隣接する取付道路工事を予定しています。用地の取得率は、令和5年2月末現在面積ベースで74%です。

消防費

◇避難所電源設備改修事業について

問 非常電源切替盤の設置計画について伺います。

答 市内小学校体育館11か所に設置を予定しています。令和5年度は4か所、その他については、その後に実施します。

教育費

◇教育相談事業について

問 不登校の実態及び不登校対策支援アドバイザーの経歴を伺います。

答 不登校の児童生徒は、令和5年2月末現在67名です。アドバイザーは、館山中学校で不登校支援に関わっている方を想定しており、不登校生徒に対する豊富な指導経験を活かしてほしいと考えています。

国民健康保険特別会計

◇生活習慣病予防事業について

問 受診勧奨通知発送業務委託料の目的及び対象者数を伺います。

答 健康診査の受診率を高めるため、新たな方法での受診勧奨を行うおとするもので、対象者数は、令和4年度の例では、約1万人の方に勧奨通知を発送しています。

下水道事業会計

◇鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理業務包括的民間委託事業について

問 事業費の根拠を伺います。
答 令和5年度から9年度の5年間で設定した、限度額6億3千563万5千円の債務負担行為の内の1年間分です。

【討論】議案第3号 一般会計予算

予算審査特別委員会

【反対討論…鈴木順子議員】

新市長初めての予算編成にも関わらず、市長の思いが入っていないことは残念です。また、商工費のリノベーションまちづくり推進事業について、委託であるのか、補助であるのか分からない予算であること、土木費の船形館山線道路整備事業について、遠来の方にとっても、市民にとっても良いものとなるよう、全体像を示す必要があることから反対します。

本会議

【賛成討論…石井敏宏議員】

清掃センターの大規模改修や館山中の新校舎建設があるため、苦しい予算編成となりましたが、地方交付税措置のある有利な起債を使うなど、やりくりできたと思います。高校生への医療費補助を実現することの目的をつけたとはいえ、新市長らしさが十分に反映された予算ではないように感じます。しかし、就任が昨年12月であり、市は1年間を通した予算編成であるため、まずは着実な継承が大事だと考えます。新規事業は、国の交付金が採択された後に、補正予算で実施することが多いと認識しています。新市長らしい予算編成は、4月からの補正予算、そして令和6年度の当初予算でなされることを期待して賛成します。



教育環境では、1クラスでは教科担任制が採れず、授業のレベルが上がらないのではないかと。保護者の多

(7)

たてやま市議会だより

建設経済

数は、クラス替えができる2・3クラスが望ましいと考えているようである。

「児童の権利に関する条約」では、子ども本人と父母の意思を最も重視している。

何よりも、子どものために学校再編が遅延しないように着実に進めていただきたい。

一 浩 章 滋 徳
正 長 孝 光 秀
委員 田 山 崎 川
委員 木 副 倉 委 秋 龍
委員 鈴 副 倉 委 秋 龍

建設経済委員会には、4件の議案が付託され、慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第18号 館山市有害鳥獣焼却処理施設の設置及び管理に関する条例の制定について

問 施設に搬入するのは一般の人でも受け入れるのか伺います。

答 基本は捕獲従事者で、その他は千葉県や警察になると考えています。



◇議案第19号 館山市食のまちづくり拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について

問 拠点施設の開館時間は午前9時から午後5時ですが、季節に関係なく、年間通しての時間なのか伺います。

答 原則としてこの時間に施設を開館してもらおうというものであり、日の長い時期などは、午後5時以降ということも十分あり得ます。現在事業者が季節に応じた開館時間を検討中です。

◇議案第20号 指定管理者の指定について

問 株式会社ロードサイドステーション館山に決定した経緯を伺います。

答 令和3年2月1日に、食のまちづくり拠点施設整備事業をDBO方式で実施するという公募型プロポーザルを実施しました。その結果、3つのグループ事業者が手を挙げ、当時の丸高石油株式会社を中心としたグループ事業者が優先交渉権者に選ばれました。

追加議案

定例会の最終日には、条例議案1件、補正予算2件、人事案件3件が追加議案として上程され、審議の結果、原案どおり可決、同意しました。議案の内容は次のとおりです。

◇議案第25号 館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症に伴う、現下の厳しい社会経済情勢に鑑み、令和5年1月1日から令和5年3月31日まで実施している特別職の給料を10パーセント減額する措置を、令和6年3月31日まで、更に1年間継続するものです。

◇議案第26号 令和4年度館山市一般会計補正予算(第15号)

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ3億4千157万5千円を追加し、総額2億4千407万6千円とするものです。

歳入の主な内容としては、教育費で、館山中学校整備事業について、国庫補助金の追加交付に伴い、令和5年度に実施予定の事業の一部を令和4年度に前倒しして予算化するものです。

歳入として、国庫支出金、寄附金及び市債を増額するとともに、繰入金を減額するほか、継続費の補正として、館山中学校整備事業の変更、地方債の補正として、学校教育施設等整備事業を変更するものです。

◇議案第27号 令和4年度館山市一般会計補正予算(第16号)

消防団運営費のうち、防火衣の購入について、新型コロナウイルス感染症等の影響による原材料の供給不足に伴い、年度内の完了が見込めないため、令和5年度への繰越明許費を設定するものです。

◇議案第28号 館山市副市長の選任について

鈴木雄二副市長が本年3月31日をもって退任するので、その後任として、石井博臣さんを選任することに、議会の同意を求めるものです。



石井博臣副市長

◇議案第29号 館山市教育委員会教育長の任命について

出山裕之教育長が本年3月31日をもって退任するので、その後任として、石井浩己さんを任命することに、議会の同意を求めるものです。



石井浩己教育長

◇議案第30号 館山市教育委員会委員の任命について

現在、欠員となっている教育委員について、石川隆教さんを適任と考え、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、教育委員に任命するものです。

令和5年第1回 定例会提出議案議決結果

議案等番号	件 名	付託委員会	議 決 結 果	
議案第1号	財産の取得について	—	原案可決	全会一致
議案第2号	令和4年度館山市一般会計補正予算（第13号）	—	原案可決	全会一致
議案第3号	令和5年度館山市一般会計予算	予算審査	原案可決	賛成多数
議案第4号	令和5年度館山市国民健康保険特別会計予算	予算審査	原案可決	全会一致
議案第5号	令和5年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	予算審査	原案可決	全会一致
議案第6号	令和5年度館山市介護保険特別会計予算	予算審査	原案可決	全会一致
議案第7号	令和5年度館山市下水道事業会計予算	予算審査	原案可決	全会一致
議案第8号	館山市個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	原案可決	全会一致
議案第9号	館山市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について	総 務	原案可決	全会一致
議案第10号	館山市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	原案可決	全会一致
議案第11号	館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	原案可決	全会一致
議案第12号	神余地区に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	総 務	原案可決	全会一致
議案第13号	西岬（西）地区に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	総 務	原案可決	全会一致
議案第14号	館山市立博物館設置条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第15号	館山市附属機関設置条例及び館山市子ども・子育て支援法第87条の規定による過料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第16号	館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第17号	館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第18号	館山市有害鳥獣焼却処理施設の設置及び管理に関する条例の制定について	建設経済	原案可決	全会一致
議案第19号	館山市食のまちづくり拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	建設経済	原案可決	全会一致
議案第20号	指定管理者の指定について	建設経済	原案可決	全会一致
議案第21号	令和4年度館山市一般会計補正予算（第14号）	総 務	原案可決	全会一致
議案第22号	令和4年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	文教民生	原案可決	全会一致
議案第23号	令和4年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	文教民生	原案可決	全会一致
議案第24号	令和4年度館山市下水道事業会計補正予算（第3号）	建設経済	原案可決	全会一致
議案第25号	館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決	全会一致
議案第26号	令和4年度館山市一般会計補正予算（第15号）	—	原案可決	全会一致
議案第27号	令和4年度館山市一般会計補正予算（第16号）	—	原案可決	全会一致
議案第28号	館山市副市長の選任について	—	原案同意	全会一致
議案第29号	館山市教育委員会教育長の任命について	—	原案同意	全会一致
議案第30号	館山市教育委員会委員の任命について	—	原案同意	全会一致
請願第14号	館山市における学校再編・統合を求める請願書	文教民生	採 択	全会一致

令和5年第1回 臨時会提出議案議決結果

議案番号	件 名	付託委員会	議 決 結 果	
議案第31号	館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	—	承 認	賛成多数
議案第32号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	—	承 認	賛成多数
議案第33号	館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決	全会一致
議案第34号	令和5年度館山市一般会計補正予算（第1号）	—	原案可決	全会一致
議案第35号	館山市監査委員の選任について	—	原案同意	全会一致

賛成 私の判断は 反対

令和5年第1回 定例会（3月）・議案の賛否 賛否が分かれた議案のみ掲載（賛成○、反対×）

議員名 議案番号	佐野聖一	長谷川秀徳	倉田孝浩	鈴木ひとみ	石井敏宏	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	龍崎滋	石井信重	鈴木正一	秋山光章	榎本祐三	本橋亮一	鈴木順子
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×

令和5年第1回 臨時会（5月）・議案の賛否 賛否が分かれた議案のみ掲載（賛成○、反対×）

議員名 議案番号	東洋平	渡辺雄二	安田邦春	本澤栄里子	鈴木明子	佐野聖一	長谷川秀徳	倉田孝浩	鈴木ひとみ	石井敏宏	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	石井信重	鈴木正一	秋山光章	鈴木順子
議案第31号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
議案第32号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

解説 今回は、給食費について質問しましたが、多胎児問題を考えるきっかけとなればとの思いで取り上げました。論点としては、答弁にあった公平性の見解についてです。執行部は、単に物理的に同じであるという考え方を示されましたが、二人目を産み育てたいという意思と、一度に二人を育てるということは予期せ

答 多胎児の二人目以降を無償化の対象とすることは、公平性の観点から、多胎児以外の二人目世帯に対しても学校給食費を無償化すべきと考えます。これら対象者の拡大には多額の市民負担が必要となることから、現時点では、二人目以降の無償化は考えていません。



解説 ひきこもり者実態調査の実施を強く求めました。また、ひきこもりは、貧困や80・50問題、社会保障の対象となりうる等、深刻な社会問題であり、一人の克服は当事者・家族の有益性は勿論のこと、地域や自治体にまで及ぶ大きな社会益に繋がることから、具体性と実効性を伴う支援活動となるよう要望しました。

答 令和2年8月に地域の社会福祉士、精神保健福祉士等の専門職が、高齢・障害・生活困窮等の各分野を超えて連携を図り「南房総ひきこもり支援協議会」を発足させました。この度、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、中核地域生活支援センター、障害福祉事業者等の各団体が加わりましたので、今後、この協議会でひきこもりの対応と支援をしていきます。

多胎児支援について

問 多胎児の二人目以降に対する学校給食費の無償化について伺います。



瀬能 孝夫議員
3期目・65歳・佐野
公明党
(総務委員会委員)

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。

*委員会・期数は3月定例会時点
*年齢は議会だより発行日時点

孤独・孤立問題の

解消へ向けて

問 ひきこもり問題への取組を伺います。

ぬ結果と捉え、別次元で考えるべき問題である点を強調し、今後、様々な支援枠を多胎児の二人目以降にも設けるよう、理解を求めました。



龍崎 滋議員
3期目・69歳・広瀬
公明党
(建設経済委員会委員)

食のまちづくりについて

問 食のまちづくり拠点施設の設定目的である産業振興と地域の活性化をどのように展開するかと伺います。

答 拠点施設を単なる物販施設や道の駅として運営するのではなく、6次産業化など農水産物の付加価値向上や、活用促進のための拠点として、担い手の交流や育成、他業種との連携、生産者と消費者の情報交換などの交流拠点として機能させます。また、観光、福祉や雇用、教育等の分野と連携して、地域の課題解決や発展に向けた取組を行っていくため、たてやま食のまちづくり協議会とも連携して事業を検討し、展開していきます。

解説

令和6年2月のオープンに向けて建設工事が始まりましたが、道の駅としての事業が行われた後の、まちづくりの拠点としての機能と事業内容が重要なことから、事業の進捗と併せて今後の取組と、食のまちづくり条例の制定について市の考えを問いました。



農園（イメージ）

9価HPVワクチンの定期接種化対応について

問 9価HPVワクチンの定期接種化を踏まえ、対象者へどのように通知するか伺います。

答 冬休み前の再勧奨通知の際に、9価HPVワクチンの開始時期について案内をしており、中学1年生、中学3年生及び高校1年生の未接種者やキャッチアップ接種対象者に対しては、接種に関する詳細な事項が決まり次第、個別通知を予定しています。

解説

HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは、かつて子宮頸がんの予防措置として国が推奨しましたが、特異的副反応が見られたことから積極的勧奨にならない旨の勧告が出されました。その後、特段の懸念が認められないことや接種の有効性が副反応のリスクを上回るとの判断により、再度個別勧奨が行われました。今までのワクチンより有効性の高い9価ワクチンの公費接種が4月から行われることを受けて、接種対象者への情報提供が大事であることから質問を行いました。



榎本 祐三議員
5期目・77歳・笠名
たてやま21・緑風会
(総務委員会委員)

「第4次行革方針」の重点的な取組を問う

問 第4次館山市行財政改革方針（原案）では、3つの基本方針に基づき78項目を設定していますが、重点的に取り組む内容を伺います。

答 全ての取組を着実に実行していきますが、その中でも歳入確保では、ふるさと納税の推進、受益者負担の見直し、歳出削減では、公共施設等の管理・運営の最適化です。また、社会環境の変化に対応できる行政機能の強化にも取り組みます。

解説

このまま何もしなければ、館山市の財政は令和9年度には財政調整基金が枯渇する状況となりますが、この度策定した第4次館山市行財政改革方針の取組で回避しようとしています。この取組の中で、受益者負担の見直しや公共施設等の管理運営の最適化には、市民の理解と協力が不可欠ですので、市民にしっかりと説明するよう要望しました。

「市民協働」の取組と評価を問う

問 「館山市市民協働条例」が施行されて4年が経過しますが、今日までの市民提案の具体的な取組はどのようなことがあり、結果をどのように評価していますか。

答 条例施行後4年間で18件を市民協働事業補助金の対象事業として選定し、幅広い分野で事業を実施していただいています。令和4年度も3件を事業選定し、当該団体による報告会を開催して、職員も含めた市民の皆様が各団体からの報告を熱心に聞くなど、まちづくりについて考える良い機会となっています。

解説 市民協働条例は、今後の自治体運営には市民の力が不可欠であるとの認識から制定されたもので、施行後4年が経過することから実態を質問し、条例がしっかりと機能していることを確認しました。



市民協働まちづくり支援事業報告会



秋山 光章議員
5期目・76歳・大井
市民クラブ
(建設経済委員会委員)

農水産業の担い手の

高齢化を問う

問 農水産業の担い手の高齢化について、市の考えを伺います。

答 農水産業の高齢化は地域の衰退にも繋がる極めて深刻な状態であると認識しています。生産力が低下する中、農水産業を継続、維持していくためには、担い手の確保と育成が大変重要です。

解説 新規就農者は初めから高額な農機具は持てません。そこで、南房総市と安房農協が農業支援センターを設立し、機械作業等で農家を支援しています。館山市は同センターの会員ではないため、館山市民が作業を委託すると料金が2割増しとなります。館山市において同等の農業支援センターの設置が困難であれば、せめて割り増し分の2割を館山市で負担するよう強く要望しました。

問 海岸線が約34キロメートルある館山市において、海水魚の養殖(シマアジ・ヒラメ等)や、陸で淡水魚の養殖(ナマズ・テナガエビ等)がでないか伺います。

答 養殖業は、外的要因が低く安定した生産が期待できる上、工夫を重ねることにより品質も向上できるなど多くの利点があります。一方で、餌代などのランニングコストがかかるほか、海面養殖では漁業権が必要となります。陸上養殖は海面養殖よりもコストがかかります。千葉県補助制度等があるため、千葉県や地元漁業協同組合とも連携しながら、養殖事業の促進を図っていきたく考えています。

里見氏大河ドラマと 市の活性化について



市役所庁舎外壁

問 市の活性化には、市役所の中に戦略的に動ける部署を作るべきと思いますが、考えを伺います。

答 大河ドラマ化実現の効果は、交流人口の拡大や商業、観光産業の振興など計り知れないものがあると承知していますが、その業務を担う部署、係、専従の職員を配置することは、市役所全体の業務や限られた人材の中で、厳しいものと考えています。

解説 観光客や市の人口が増えれば、市の財政も良くなります。財政が良くなれば市民サービスも良くなるという考えから質問しましたが、厳しいとの回答でした。



石井 敏宏議員
3期目・51歳・上真倉
たてやま 21・緑風会
(文教民生委員会委員)

千葉県にも

海岸清掃の美化組織を

問 ビーチクリーンにおいて、ボランティアでは重量物の処理が困難です。神奈川県公益財団法人かながわ海岸美化財団のように、千葉県でも同様の美化組織を作ってほしいと思いますが、いかがですか。

答 館山市では、来訪者にきれいな海岸エリアを提供するために、海水浴場を開設する4か所の海岸を中心に、年間を通じた海岸清掃作業を随時行っています。

また、ボランティアの皆様による清掃活動が海岸を含めた公共的な場所で活発に行われており、館山市として、ボランティア袋の交付やごみの収集など、清掃活動を積極的に支援しています。加えて、令和4年度も市民協働まちづくり支援事業として、たてやまビーチクリーンボランティアネットワークによる「ビーチクリーンを効果的に行う方法の実証確認」を選定し、先日、実施内容の報告会を開催したところです。その中で、とても人力では持ち上げることのできない流木等に対して、2台のバックホウや不整地運



重機による海岸清掃 (R4.10 平砂浦海岸)

搬車など、複数の重機により対応しただけでは、本来、排出者により適正に処理されなければならず、また、土地の管理者には、その土地を清潔に保つ責務が課せられています。海岸については、海岸管理者である千葉県が、その清潔を保つよう、海岸漂着物等の処理のため必要な措置を講じなければならぬものであり、千葉県安房土木事務所では、那古海岸から北条海岸までの間について、業者委託による重機を用いた海岸清掃を実施しています。館山市としては、今後も海岸管理者である千葉県に対して、「千葉県でも海岸美化組織を作ってほしい」という、ボランティア清掃をする皆様の意向や市内の海岸の状況を伝えるとともに、その動向を確認しながら、海岸漂着物等の処理のため必要な措置を講じ、そのことを要請していきたいと考えています。



鈴木 ひとみ議員
1期目・64歳・佐野
新政クラブ
(総務委員会副委員長)

保育園での

紙おむつ処分について

問 厚生労働大臣が、使用済み紙おむつの保育園での処分を推奨すると発表しましたが、館山市ではどのように対応するのか伺います。

答 使用済み紙おむつを衛生的に保管できる装置の情報も多数あることから、保管場所や回収の課題、回収及び処分に係る費用と保護者負担などを整理し、どのような形で実施できるか検討したいと考えています。

解説 保管場所、回収の方法について早く解決し、早急に実現することを目指します。



スクールバスの 特例措置について

問 小学校の通学路の規定について、半径2キロメートル以内でも、通学路が危険な場合や実際に歩く距離が2キロメートル以上になる場合は、スクールバスの利用、または定期券の補助を特例として認められないか伺います。



危険な通学路の一例（神戸地区）

答 各小学校の学区において、実際に歩く距離が2キロメートルを超える地域が多数あることや、通学上の安全リスクは、市内どの地域にも普遍的に存在しています。特例的に通学支援を行うことは、事業の実施に当たり多額の市民負担を要することや公平性の観点からも、実施することは難しいと考えています。

解説 子どもたちが安全に通学できることは何よりも優先されるべきです。子どもたちすべてをスクールバスにできなくても、危険性の高いところ、可能などころからスクールバスの運行や通学定期の補助を行うべきだと考えます。



鈴木 順子議員
8期目・73歳・下真倉
じゅんぷう
(文教民生委員会副委員長)

子育て世代への

取組を問う

問 伴走型相談支援及び出張子育てひろばの取組と今後の展開を伺います。

答 妊娠期から出産、子育てに至るまで相談に応じ、各機関などと連携をとりながら必要な支援につなぐことで孤立感、悩み、不安の解消を図ります。新たに、妊娠8か月頃にアンケートによる状況把握や面談を行い、経済的支援と伴走型相談支援を一体的に実施します。

解説 妊娠期からの支援という枠組みではなく、不妊で悩んでいる人もいることから、館山市独自の取組として支援期間を拡大したらどうでしょうか。



出張子育てひろば（イオン会場）

働く世代への

取組を問う

問 働く場がないと言われ続けている館山市にとって、雇用の創出や就業支援をどう行っていくのか。また、企業誘致に向けての取組はどう行うのか伺います。

答 既存の企業が新たな事業に挑戦するための設備投資等を支援する取組や、企業誘致については県の企業立地課を通じて情報収集等を行っています。就業支援については、安房地域での就職を希望する高校生を対象とした就職セミナーなどの取組を行ってきたことで、その成果が少しずつ現れていることから、さらに地元で就労できるような環境づくりを行っています。

解説 働く場については、あらゆる施策を考えるべきです。

「食のまちづくり」では、これまでの向かなかった障がい者の働く場への取組がされる雇用を提案します。農業、漁業では、野菜工場や養殖など、若者が夢をもてる事業展開への支援の取組を提案します。

一方で、多くの企業が統廃合したことで遠距離通勤せざるを得なくなってきた人にとって、鉄道の減便は影響があることから、通勤快速や特急の復活を求めることも必要ではないでしょうか。市としてこの事態を深刻に受け止め、改善に向けた対応を求めます。



佐野 聖一議員
1 期目・48 歳・波左間
市民クラブ
(文教民生委員会委員長)

清掃センターの 大規模改修工事について

問 2 炉同時に停止してごみの受け入れ制限をしましたが、不具合や課題などはありませんか。また、処理しきれずに外部施設で処理した量と、その費用について伺います。

答 昨年末の2炉停止した9日間において、大きな不具合や受け入れ時のトラブルはありませんでした。処理しきれずに外部施設で処理した量は、令和5年2月末現在で、1千680トンで、その処理委託費は約7千500万円となっています。

解説 大規模改修工事完了後、15年またはそれ以上の稼働を期待しています。一般的には広域化・集約化により単体よりも大きな効果が期待できますが、災害が頻発、激甚化している状況を考えると、この地にごみ処理施設があることの意味は大きいと考えます。また、ごみ処理施設に限らず、発電設備や再生可能エネルギー設備を併設するなど、災害に強い自立型の施設は必要ではないかと考えています。

地域防災力の強化について

問 自主防災組織及び消防団活動への具体的な取組と、小中学校での防災教育について伺います。

答 自主防災組織への具体的な取組は、災害への対応力強化と地域住民の防災意識の向上を図ることを目的として、館山市防災ミーティングのほか、市職員が各地域に出向いての防災講座や、防災士養成講座の受講費補助を行っています。

消防団活動への取組としては、消火活動に必要な設備や団員の安全確保のための装備品の支給などを行っています。活動範囲を防災にも拡げ、地区の自主防災組織と共に防災訓練などに参加し、地域の消防防災力の強化にも取り組んでいます。防災教育は、地理的特性を踏まえた災害や防災科学技術などの知識を学び、予想される災害に備える能力を育むために行われます。

各学校では限定的な時間の中で、教育課程を工夫しつつ児童生徒が災害から身を守るために必要な能力を養うこと、また、率先して周りの人々や地域の安全を支えることができる人材を育成することを目指しています。



防災ミーティング (R5.1.21 津波防災講習会)

市議会を見たい・知りたい

YouTube 市議会を動画配信

本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（生中継終了後からおおむね2か月間）で視聴できます。



採決結果を場内モニターに表示



賛成・反対の採決ボタン



発言者の役職・氏名を表示

LINEで
簡単に情報
GET



9月定例会の日程（予定）
・6月定例会後（6/28以降）に
お知らせします。



館山市の公式LINEを登録することで、議会だよりや議会の情報が配信されます。



温水プール・老人福祉センターを視察

～施設の今後のあり方を検討～

市議会は、老朽化が著しい温水プール（湊）、50 m プール（宮城）、老人福祉センター（湊・出野尾）を視察しました。当日は、各担当から施設の現状と今後の方向性の案について説明がありました。今後は「館山市公共施設個別施設計画」に沿って、施設の具体的な方向性が示されることとなります。

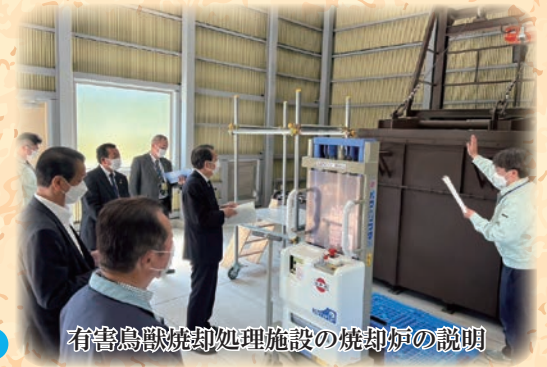


温水プール・ボイラー設備の説明

有害鳥獣焼却処理施設を見学

～4月から運用スタート～

4月から運用を開始した「有害鳥獣焼却処理施設（出野尾）」を視察しました。農水産課職員から、イノシシなどの搬入から焼却処分までの流れの説明がありました。



有害鳥獣焼却処理施設の焼却炉の説明

～議会報告会が変わります～

市民の皆様のアンケート結果を参考に、「誰もが参加し発言しやすい議会報告会」を目指して、開催方法を以下のとおり見直しました。令和5年度の議会報告会から運用します。

主な変更点	これまで	これから
参加者	個人参加を想定	個人、団体や幅広い年齢層など多様な方々の参加を促す
報告内容	委員会審査の内容 意見交換	委員会審査の内容 意見交換 * 従来よりも時間を拡大
会場	3会場で同日、同時刻開催	1会場で、午前・午後開催 * 毎年会場変更
班編成	各会場 6議員で編成	午前・午後、各9議員で編成



表紙写真を募集中！

☆募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

☆応募資格

館山市在住、在勤または在学の方

☆応募方法

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。詳しくは、「市議会HP」をご覧ください。



編集後記

4月の改選により、新たな議員構成で議会がスタートしました。前の4年間は、台風災害と新型コロナウイルスの影響で議会運営や様々な活動が大きく制限されました。感染症の5類移行に伴い、今期は議会基本条例にあり、今期は市民の意思を市政に的確に反映させる」との使命感に立ち、開かれた市民参加の議会を目的とした対面での議会報告会の実施や、わかりやすい情報発信、そして何より、市民の皆様信頼される広報広聴活動に努めてまいります。（瀬能）



新たな広報広聴委員会

※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで、電話またはメールでご連絡ください。

（電話番号及びアドレスは下記を参照）

